

第2 危険度の見積り及び評価方法

1. 見積り

洗い出した「災害の可能性」と「災害の重大性」を掛け算したり、足し算したりして点数化するものと、記号で表すものがあります。

この冊子では、5段階の掛け算方式を採用しております。

2. 評価

点数化あるいは記号化されたものを、危険度（優先度）の判定基準に合わせてレベル分けを行います。そして、危険度の高いものから、低減対策をたてていきます。

○低減対策検討基準

危険度（優先度）	低減対策基準
5	即座に他の方法に回避する必要がある
4	抜本的な措置を早急を実施する必要がある
3	計画的な改善が必要
2	現時点では改善の必要はない
1	対策の必要はない

3段階掛け算方式

(1) 可能性の見積り基準

災害発生の可能性	判断基準	数値
ほとんど起こらない	5年に1回程度発生する	1
たまに起こる	1年に1回程度発生する	2
かなり起こる	6か月に1回程度発生する	3

(2) 重大性を見積り基準

災害の重大性	判断基準	数値
軽微	不休災害	1
重大	休業災害	2
極めて重大	死亡及び障害を伴う災害	3

(3) リスク及び危険度の判定基準

可能性 \ 重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
ほとんど起こらない (5年に1回程度)	1 × 1 = 1 危険度 1	2 × 1 = 2 危険度 2	3 × 1 = 3 危険度 3
たまに起こる (1年に1回程度)	1 × 2 = 2 危険度 2	2 × 2 = 4 危険度 3	3 × 2 = 6 危険度 4
かなり起こる (6か月に1回程度)	1 × 3 = 3 危険度 3	2 × 3 = 6 危険度 4	3 × 3 = 9 危険度 5

5段階掛け算方式

(1) 可能性の見積り基準

災害発生の可能性	判断基準	数値
極めて頻繁に起こる	極めて慎重に作業していないと負傷する	5
かなり起こる	かなり注意していないと負傷する	4
ときどき起こる	注意していないと負傷する	3
まれに起こる	うっかりしていると負傷する	2
ほとんど起こらない	さほど注意していなくてもほとんど負傷しない	1

(2) 重大性の見積り基準

災害の重大性	数値
死亡・障害等級1級～14級	5
休業4日以上	4
休業4日未満	3
不休災害	2
医師の治療を受ける必要のない程度	1

(3) リスクの判定基準

可能性 \ 重大性	死亡・障害等級 1級～14級	休業4日以上	休業4日未満	不休災害	医師の治療を 受ける必要の ない程度
	5	4	3	2	1
極めて頻繁に 起こる 5	5 × 5 = 25	5 × 4 = 20	5 × 3 = 15	5 × 2 = 10	5 × 1 = 5
かなり起こる 4	4 × 5 = 20	4 × 4 = 16	4 × 3 = 12	4 × 2 = 8	4 × 1 = 4
ときどき起こる 3	3 × 5 = 15	3 × 4 = 12	3 × 3 = 9	3 × 2 = 6	3 × 1 = 3
まれに起こる 2	2 × 5 = 10	2 × 4 = 8	2 × 3 = 6	2 × 2 = 4	2 × 1 = 2
ほとんど起こ らない 1	1 × 5 = 5	1 × 4 = 4	1 × 3 = 3	1 × 2 = 2	1 × 1 = 1

(4) 危険度の判定基準

判定数値	危険性・有害性の評価	危険度
20～25	極めて大きい	5
12～16	かなり大きい	4
9～10	中程度	3
6～8	かなり小さい	2
1～5	極めて小さい	1

足し算方式

(1) 可能性の見積り基準

災害発生の可能性	判断基準	点数
確実又は可能性が極めて高い	よほどの注意力がないと負傷する	8
可能性が高い	注意していないと負傷する	4
可能性がある	うっかりミスで負傷する	2
ほとんどない	注意力がなくてもほとんど負傷しない	1

(2) 重大性の見積り基準

災害の重大性	点数
死亡・障害等級1級ないし14級	10
休業災害	6
不休災害	3
医師の治療を受ける必要のない些細な災害	1

(3) リスクの判定基準

重大性 可能性	死亡・障害等級1級 ～14級 (10点)	休業災害 (6点)	不休災害 (3点)	医師の治療を受ける 必要のない些細な災害 (1点)
確実又は可能性が 極めて高い (8点)	18点	14点	11点	9点
可能性が高い (4点)	14点	10点	7点	5点
可能性がある (2点)	12点	8点	5点	3点
ほとんどない (1点)	11点	7点	4点	2点

(4) 危険度の判定基準

見積り結果 (点数)	危険性・有害性の評価	危険度
18～14	直ちに解決すべき問題がある	5
13～10	重大な問題がある	4
9～8	かなり問題がある	3
7～5	多少問題がある	2
4～2	問題は少ない	1

記号式

(1) 可能性の見積り基準

災害発生の可能性	判断基準	記号
ほとんど起こらない	5年に1回程度発生する	○
たまたま起こる	1年に1回程度発生する	△
かなり起こる	6か月に1回程度発生する	×

(2) 重大性の見積り基準

災害の重大性	判断基準	記号
軽微	休業3日以内(不休災害)	○
重大	休業4日以上(休業災害)	△
極めて重大	死亡及び障害を伴う災害	×

(3) リスクの判定基準

可能性 \ 重大性	○軽微 (不休災害)	△重大 (休業災害)	×極めて重大 (死亡・障害)
○ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△たまたま起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
×かなり起こる (6か月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて大きい)

(4) 危険度の判定基準

危険度・有害性の見積り記号	危険性・有害性の評価	危険度
××	極めて大きい	5
×△ △×	かなり大きい	4
×○ △△ ○×	中程度	3
△○ ○△	かなり小さい	2
○○	極めて小さい	1